

巻 頭 言

代表幹事：柴田素伸

ニューイヤーズ・レゾリューション

明けましておめでとうございます。

昨年、テロに戦争、大地震に加え、SARS、鳥インフルエンザ、鯉ヘルペス、BSEなど、不安材料の多い年でありました。今年はどんな年になるのでしょうか。

正月にラジオから Have you made a new year's resolution? という外人講師の声が聞こえ、洋の東西を問わず新年には心新たな目標作りや決心をしてがんばるものなのだ、と妙に感心した次第です。

さて、昨年4月、私が愛知県技術士会の代表幹事をお引受したときには、就任の挨拶として「魅力づくり」を標榜し、そのような運営を心がけてきました。お陰で研究発表会や講演会、見学会などでは多くの方の参加をいただきましたし、新しい入会者も1月末現在19名に達し、幹事一同感謝一杯の気持ちです。

16年度も引き続き「魅力づくり」に取り組みたいと考えております。これから幹事の先生方と相談して年間計画を構築して行きますが、研究会や講演会を柱にし色々な分野で活躍されている専門家の方を講師に招くなど、われわれの視野をより豊にする努力を続けたいと思います。

三つのワーキンググループも健在です。ここは、個人の勉強の場だけでなく情報交換の場、親交を深める場としての機能もあるので、できるだけ多くの方が参加されるのが望ましく、更に新しいグループの発足が望まれます。ホームページも改装しましたが配信システムの整備が遅れています。15年度の反省点や、不十分なものの整備など身近なものでも手を抜かずに取り組んで行きたいと思います。

昨年度も、仕事の紹介や適任者の紹介依頼などが若干ありました。幹事会に計っている時間がなく、代表幹事一存で処理する場合が多く、公平さに問題を感じていますが、どうしても日ごろお付き合いの多い方がイメージアップされてくることは否めません。ですから、なるべく多くの方、新しい方との付き合いができるよう努力しています。しかし、行事に参加されないと全く接点がありませんので、ご本人や技術士会のためにも行事には一人でも多くの方の参加を切望しています。

年が改まってからは景気の回復も期待されていますし、良い年にしたいものです。より多くの方々のご参加とご協力を切にお願いする次第です。

完

「広場・湖海の土」 No.2 1

渡邊好啓（機械部門）

講師としての話の難しさ

今回は急なこととして間瀬先生から本項の記載を依頼されてしまいました。何とかやるでしょうと安易な引き受けをしたものの、記入しようとしたら内容のイメージが出てきません。困った末に、ここのところ続いていますセミナー講師の話をすることにします。

最初は中小零細企業の事業主を対象にした“現在の厳しい経営環境でどうしよう！”というものでした。30人を対象に、料理屋さんの座敷で座学です。座り演台の前で、予め配布してあるレジメのままで進めるかどうかを考えながら話します。まず総論から話を始め、探りを入れます。そうすると、一般論は話をしても意味がない事を知りました。中小零細企業の事業主といえども、この経営環境についてはよく勉強をしています。それは、「ビジネスにはオンリーワンが必要！」であるとか、「ビジネスの利益は競合相手に対する差別化で達成できる！」であるということです。話しながら考えます、「きっと、事業者の方々は分かっていることが展開できないだけ？」だと。

「私の思いを、そのまま話してみよう！」と切り替えました。それぞれの業種・業態での仕事の量は以前に比べて半分以下になってしまったのでしょうか。その残り仕事を同業者で奪い合って競り勝っても、その事業者は一部になるでしょう。「これはちょっと違うぞ！」と思ったのです。今事業者が欲しいのは売上金額ではありません、小さな利益なのです。急に思いつきの話をします。最近の近所の飲み会での電気屋Aさんの話です。いつも会場には遅れてきますし、飲みながらも頻繁に携帯電話が入ります。「今は酒を飲んでいるので、ちょっと待ってね！」と言っています。飲み会の後はカミサンが運転でお客さんのところに出向くと言います。どんな小さな相談や注文も受けます。蛍光灯1本の取り替えも行います。最近の老人家族では、これがすこぶる大事な事だと言います。しかも「うちは定価販売で高いですよ！」と公言しています。それでも、ここまで面倒を見る家電屋さんは他に無いと自信を持っています。その話をしました。

目の前に居た事業者の方に「商売は何ですか？」と聞きました。「縫製屋ですが、大変に困っています。」と言われます。今お話をした電気屋Aさんのように、「どんな縫製仕事でも受けてみましょうか？」と声を掛けました。

講演の講師として前でお話をする時には、聴衆の表情・目線・雰囲気が大変に気になります。その反応に応じて軌道修正をしたいのです。しかし、なかなか上手く行きません。今回の講師体験によって、「難しいことを言わない」「立派な話をしない」などで、身近な展開ができれば、それが一番良いように思いました。

「 会 員 コ ラ ム 」

杉本 漢三 (機 械 部 門)

地球環境保全にやさしい小型自動車

20 世紀の前半は石炭、後半は石油によりエネルギー規模は、20 倍にもなった。これら化石燃料から生成される CO₂ によって、地球温暖化の危機を招いている。少し冷静に考えると、この地球温暖化問題は、化石燃料枯渇よりも地球環境容量の制約が先に顕在化する可能性の高いことを感じる。

40 年前に M 社に入社し、ガソリンエンジンの設計業務に手を染めたとき、あと 40 年で石油は枯渇すると言われたが、定年退職を過ぎた今日でも同じことが言われている。しかし、CO₂ の大気中の濃度は、この 2 世紀で 3 割増え、このままでは 2050 年頃に 8 割も増加すると予想されている。運輸部門での CO₂ 排出量は航空機を除くと 9 割程は自動車であり、90 年からの増加率は 2 割以上と他部門に比べて格段に大きい。このため京都議定書の CO₂ 排出量 6%削減に向けて、省エネ法が改正され、ガソリン自動車、ディーゼル自動車などの燃費が「トップランナー方式」となった。燃費が良ければ、その分 CO₂ の排出量も少なく、地球温暖化防止に効果がある。

だが、欧州地域では燃費のよい小型車化、ディーゼル乗用車化などにより CO₂ 削減対策に努力しているが、日本は逆行した方向に進んでいるように思える。環境保全に関心がないのか大きな R V 車(ワンボックスカー等)や S U V(スポーツユーティリティビークル)がよく売れており、高級セダンも V 8-4500 c c のガソリンエンジンを搭載して新発売された。国土の狭い日本は、小型車で事足りると思える。自重を転がすために多量の燃料を消費する 3 ナンバー大型車は、10 k m 走るとに 3 k g ほどの CO₂ を排出するのである。

一昨年、欧州各国を旅行して分かったが、都市では道幅が狭く、道路そのものを縦列駐車場に使っているため、小型車しか思うように走れない。さらに燃料が高いから小さいエンジンが好まれる。日本の木と紙の文化と違って、石の文化の欧州では数世紀前の建物を壊して道路を拡幅することはかなり難しく、今後とも環境にやさしい小型車が主流となろう。日本は自家用車の急増にともない、建物を壊しながらどんどん道路を拡張してきた。拡張整備の犠牲で木造・モルタル建築は簡単に取り除かれ、その工事で産業廃棄物も多量に出た。悪循環を繰り返している日本は、ハーグ C O P 6 で「化石賞」をいただいた恥に象徴されている。このような日本人のワガママもいつまでも許されないだろう。

T 社がフランス工場を設立し、小型車「ヤリス」を生産している。その後、1400 c c のディーゼルエンジンを追加したと報道している。

日本は、何故かディーゼル乗用車を閉め出しているが、これがノー・リグレットというも

のか？

お知らせコーナー

● 第 5 回例会「第 4 回ふれあい技術士プラザ」開催のご案内

日時：平成 16 年 2 月 21 日（土）13：30-18：30

場所：花車ビル 5 階会議室（花車ビル北館：地下鉄桜通線国際センター 3 番出口すぐ）

内容：情報交換会（13：40-15：10）

全員参加による業務・自己紹介と愛知県技術士会への要望・アドバイス等を一人 3 分以内でお話して戴きます。自己紹介レジメの配付が必要な方は A4 サイズで各自ご用意ください。

基 調 講 演（15：20-16：20）

「日本産業の活性化と技術士への期待」（名工大大学院助教授：小竹暢隆先生）

W G 紹 介（16：20-17：20）

懇 親 会（17：30-18：15）

会費：2,000 円（会員外：3,000 円）（内訳：討論会 1,000 円 懇親会 1,000 円）

申込：日本技術士会中部支部内 愛知県技術士会「松田事務局次長」宛

ファックス：052-533-1305 E-Mail：g-chubu@asahi-net.email.ne.jp

その他：申込用紙は既に配信済みですが、必要な方は事務局までご請求ください。

● 平成 16 年度総会開催のご案内

日時：平成 16 年 4 月 24 日（土）13：30 より

会場：中小企業振興会館（吹上ホール）4 階第 3 会議室

議案：H15 年度事業報告、決算報告、H16 年度事業計画、予算案、その他

講演：中京女子大学学長 谷岡郁子先生

多方面でご活躍の谷岡先生から“元気がでる”ご講演をしていただきます。

年に一度の総会です。多数の御参加をお待ちしております。

詳細は別途、通知いたしますので、4 月 24 日（土）はスケジュール調整をお願いいたします。

● 会員移動情報

前回の会報発信から今回までに会員の移動はありませんでした。

● 編集後記

今月号から紙面の構成を横一列とする編集としました。今までの縦 2 段の紙面では画面をスクロールする手間が面倒だ！とするとご要望を反映したものです。又、情報量が多くて受信ができない！とのお叱りも受けます。したがって、写真の添付と表示頁数はある程度制約して会報を作成しております。書体も画面上では見難い書体かと思えます。

プリントアウトしないで画面上でご覧になる場合は、画面左上の“編集”“すべて選択”
とクリックして読み易い書体を選択してください。（編集委員：間瀬）